

．フィールドチェックによる課題把握

本基本構想を策定するにあたって、冬期、夏期における現況調査を行い、交通バリアフリーの観点から課題を整理した。

4 - 1 . 冬期

(1) 調査概要

【調査日】 平成 12 年 3 月 1 日 (木) 9 : 30 ~ 12:00

【対象区域】

旅客施設

- ・ J R 千歳駅ラッチ外コンコース、待合い施設、トイレ、昇降施設、ラッチ内コンコース及びホーム等

駅前広場 (東口、西口)

- ・ 歩行者空間、タクシー、バス乗降場、駐車場等
- 周辺道路 (国道 337 号、道道早来千歳線、市道鉄北通ほか)
- ・ 駅前広場に接続する国道、道道、市道の歩道や横断歩道及び信号機等

(新規事業の説明)

交通結節点改善事業

- ・ バスと鉄道の結節強化
- ・ バスターミナル機能の整備
- ・ J R 千歳駅 2 階改札口の新設

【対象者】

高齢者及び肢体不自由者

視覚障害者

聴覚障害者

(対象者は、千歳身体障害者福祉協会、千歳聴力障害者協会、千歳視覚障害者福祉協会、千歳市肢体不自由児者父母の会、千歳老人クラブ連合会を通して選出した。)

【行程 (概要)】

総点検時間 ; 9:30 ~ 12:00

(前半点検 ; 駅に係わる部分、休憩、後半点検 ; 駅前広場及び接続する道路)

点検スタッフ

- ・ 障害者 (介添者含む)、市担当者、コンサルタント (記録兼)、各事業者が 1 組 (計 3 組) で、巡回しながら配慮すべき事項の指摘を受けた。

【調査の視点】

冬期における歩行空間の路面状況、移動性（昇降含む）視認性、安全性など
各交通機関との乗り換えに係わる誘導・案内など（鉄道、バス、タクシー、自家用車）
駅舎内歩行空間の移動性、安全性、利便性など

(2) 調査経路

